

第2回津島市水道料金等審議会議事要旨

日 時 令和6年12月13日(金) 午後2時～午後3時15分
場 所 津島市役所5階第1委員会室
出席委員 9名
欠席委員 1名
事務局 9名

資 料 ・次第
・第1回審議会での質問への回答
・津島市水道料金等審議会資料(第2回)

1 開会

2 部長あいさつ

3 審議

①第1回審議会での質問への回答

●事務局

資料(第1回審議会での質問への回答)を説明

②改定率について

●事務局

津島市水道料金等審議会資料(第2回)を用いて説明。

◎会長

事務局から改定率を23%とする提案があったが、質問意見はあるか。

○委員

先日、三重県が県水の値上げを2年間行わないと発表した。愛知県で予定されている値上げについて変更の情報はないか。

●事務局

愛知県は令和6年10月から使用料を2円値上げ、令和8年4月から4円の値上げすることで確定しており、変更の情報はない。

○委員

県水の値上げが行われない場合は、再シミュレーションを行い、値下げすることもあり得るか。

●事務局

経営状況に余裕が出た場合は値下げの可能性もある。

○委員

有収率に変動がないとの報告があったことから、同じ個所が漏水し続けている可能性がある。昨今の物価高から値上げはやむを得ないと思うが、漏水対策等による支出の削減の取り込みは行っているのか。13%の漏水について改善の見込みはないのか。有収率が改善された場合、値下げの可能性はあるのか。

●事務局

過去も有収率は 85～86%で推移しており、漏水調査を実施しているが現状漏水を発見できていない。令和7年度からA Iを活用した劣化診断を行い、漏水の発見、対策につなげたいと考えている。

○委員

A I 診断により有収率が改善した場合には、値下げの可能性もあるのか。

●事務局

経営状況を鑑みたうえで、値下げも検討する。

○委員

老朽化の調査費用は建設改良費に含まれているのか。建設改良費は資料を見ると年度によりばらつきがある。老朽化対策は毎年継続的に実施しているのか。

●事務局

管路の老朽化対策費は建設改良費のうちの一部で、施設更新/改良費なども建設改良費に含まれている。施設更新等は年次計画にもとづき実施しており、年度ごとの金額のばらつきが発生する。

◎会長

管路の老朽化対策費用は毎年一定という理解であっているか。

●事務局

その通りです。

○委員

何十年も水道料金の値上げがなかったということに驚いた。

物価の変動が大きい時代になってきているため、今後は「10年に1度見直しを行う」など明記しておいた方がよいのではないか。

●事務局

事務局としても、5～7年毎に見直しを行うべきだと考えているため、ご意見を参考にさせていただきたい。

○委員

損益の状況を見ると、黒字が減少しており、かろうじて黒字を確保している状況になっている。今後の職員給与や設備費の上昇を考えると、服部委員の意見にもあったように見直しのスパンを事前に定めておくのが望ましいと考える。

○委員

1,188 円の値上げは影響が大きいと感じる。段階的に値上げする選択肢はないのか。

●事務局

毎年の利益の確保、災害時を想定した運転資金 5 億円の確保という観点から、令和 8 年度から 23% 値上げする必要があると考えます。先延ばしにした場合、値上げ率が上昇することになるため、一度に実施させていただきたいと考えている。

◎会長

段階的値上げにした場合、結果的に上昇幅が大きくなるということか。

●事務局

その通りです。

○委員

企業側の立場としては、年間あたり 100 万円以上の値上げとなり影響が大きい。大口使用者向けの割引などの考慮はないのか。

●事務局

今回シミュレーションで提示した金額は口径 13mm の一般家庭を想定したものであるが、使用料の多い利用者への特別対応は難しく、一律での値上げする方向で検討している。

◎会長

津島市も企業誘致をしていると聞いているが、水道料金の設定が企業誘致において不利に働く懸念はないか。

●事務局

現時点で、水道使用量が多い企業を誘致しているとの情報はない。一律負担増が一般家庭、企業ともに最も納得がいく案だと考えている。

○委員

水道は企業誘致の上で大切な要素である。現在東海市に工場を構える新日鉄はもともと三重に工場を作る予定であったが、愛知用水を引いたことで東海市への誘致に成功した。しかし、山間部の多い日本では水を確保することが難しく、ダム建設など膨大な費用が掛かっている。各市町村は水を有効に使ってもらいたいという思想のもと料金体系を定めており、大局的な観点で

水道料金の設定について検討、協力していただきたい。

○委員

海部南部水道事業団と愛西市の料金が高く、津島市も料金改定を行った場合、料金の高いグループに入ることになる。この地域の料金が低い原因は何か。

●事務局

愛西市は今年料金改定を行っており、それにより高くなっている。海部南部水道事業団は、値上げは行っておらず今後も予定はないとのこと。当地域は海拔0m地帯が多く、地中を掘る際に地下水対策が必要となり、建設費が跳ね上がる傾向がある。こういった地域特性が使用料に影響している可能性が高い。

○委員

周辺地域の金額設定と大差がないという理由だけでは納得しづらかったが、地域特性によるものとの説明で理解できました。

○委員

値上げをする場合の広報活動はどのようなものを予定しているか。

●事務局

広報誌、市のホームページでの周知活動を行う。

○委員

津島市に企業は少ないように感じるが、一般家庭と企業の収入割合はどの程度か。

●事務局

一般家庭で主に使用されている口径13mm～25mmが大半。それ以上の口径は、主に受水槽を設置しているマンション、病院、福祉施設、企業が使用している。今回のシミュレーションは、家庭で一般的に使用されている口径13mmにて試算した。

◎会長

次回の審議会で津島市における口径別の比率を提示いただけるか。

●事務局

次回の審議会で提示します。

○委員

収支見直しを見ると、収入のうち給水収益が令和6年でかなり下がっているように見える。この理由は何か。

●事務局

令和5年はうるう年で日数の関係上、給水収益が多くなっています。令和6年はその分も影響を受けています。

○委員

令和5年から令和6年で経常損益が一気に下がっている。こちらの理由を教えてください。

●事務局

給水収益の減少と物価高騰などによる費用の増加が原因です。

◎会長

令和5年は予算時点でも黒字だったか。

●事務局

予算時点では若干の黒字で、実績値より黒字額は小さかった。また、利益は年々減少する傾向でした。

◎会長

予算は資金の不足が発生しないように支出を多めに見積もるため、決算値に比べ利益が小さくなるということは認識している。ただ、収支見通しの表を見たところ、令和5年から6年の間は損益の悪化が他の年に比べ大きいように見え、委員はこの点を気にしている。

●事務局

収益的収入は、人口減により12億から11.7億に減少すると見込んでいる。支出については委託料と動力費が大きく上昇すると見込んでいる。

◎会長

支出増の原因は何か。

●事務局

令和5年から令和6年の間については物価変動による影響が大きい。

○委員

職員給与費が令和5年から令和6年で大きく増えているが、1名人員が増えたのか？

●事務局

令和5年は職員の休職により金額が減少したが、令和4年と令和6年では大きな差はない。

◎会長

委員が令和6年の金額を気にしているのは、基準となる金額だからだが、令和6年の金額がシミュレーションのベース値となっているのか。令和3年から令和5年のトレンドをもとに見通しを立てているのか。

●事務局

資料（津島市水道料金等審議会資料（第2回））5ページからの記載の試算の条件の通り、令和元年～令和5年の金額を見えています。

○委員

令和6年の金額に率をかけているものものある。

○委員

令和5年の決算値を使用してシミュレーションを行った場合、こういった傾向になるか。

◎会長

基準値として何を使用するかがポイントになると思う。

●事務局

費目により算出する方法が異なります。令和6年の予算をベースにしているものも一部あるが、金額として大きいものはない。金額の大きいもの（修繕費、動力費、減価償却費）は実際の予測値をもとに算出しており、令和6年の予算は使用していない。例えば、動力費は電力量の減少と給水増減の予測をもとに算出している。修繕費は工事の計画をもとに算出している。給水収益については、令和2年から令和5年の給水収益減少率をもとに計算している。ただ、給与費については、令和5年は先に説明があったように特殊事情があるため、令和6年予算をベースにしている。

◎会長

今説明があった事項も含め、次回資料を準備したうえで説明いただけますか。

●事務局

次回までに準備いたします。

○委員

職員数は同じという前提で計算されているか。

●事務局

休職中も人数としてはカウントしているが、支出は減っている。

○委員

昨今、有機フッ素化合物（PFAS）が話題になっているが、津島市では検査をしているか。

●事務局

令和2年度、令和5年度、令和6年度に原水の調査を行った。基準値50ng/L以下のところ、計測結果は、測定可能な下限値（5ng/L）未満でした。

◎会長

対策費用などは見込む必要がないという認識でよいか。

●事務局

その通りです。

○委員

給与費について10万～20万円の上昇にとどまっており、これは少なすぎないか。こういった計算で求めているのか。

●事務局

資料（津島市水道料金等審議会資料（第2回））の5ページ記載の通り、過去の改定率平均0.21%を採用している。今年度の上昇率はこれより大きくなると推測され、今後上昇率が上がる可能性はある。

◎会長

本日は、活発なご意見をいただきありがとうございました。
事務局からは改定率を23%にするという話があり、その前提として提示されたシミュレーションの基準額の設定について色々ご意見があがりましたが、改定率23%という形で次回以降の審議会を進めるということで問題ないでしょうか。

○全委員

異議なし。

◎会長

次回の審議会は2月7日（金）14時、同会場にて実施いたします。